プレスリリース

2026 年 11 月 10 日

Opensignal「5G グローバル・モバイル・ネットワーク・エクスペリエンス・アワード 2026」を発表

日本の au とソフトバンクが「5G 信頼性」で世界トップ、
au は「5G 音声アプリ・エクスペリエンス」でも世界トップを獲得

Opensignal（本社: 米国ボストン）は、世界各国のモバイル・ネットワークにおける実世界の 5G 体感品質を評価する年次アワード「5G グローバル・モバイル・ネットワーク・エクスペリエンス・アワード 2026」を発表しました。

本アワードでは、2026 年 1 月 1 日～6 月 29 日までの期間に世界各地で収集した数十億件に及ぶ測定データに基づき、「5G ダウンロード・スピード」、「5G ビデオ」、「5G ゲーム」、「5G 音声アプリ」、「5G 信頼性」、「5G カバレッジ」に加え、2026 年から新たに導入された「5G 利用率（Time on 5G）」の 7 部門で、世界最高水準のユーザー・エクスペリエンスを提供するモバイル・オペレーターを選出しました。

日本のオペレーターは、au（KDDI）とソフトバンクが、国土面積 20 万平方キロメートル超の市場を対象とする「5G 信頼性」部門で 5G グローバル・ウィナーとして共同受賞しました。更に、au は同市場区分の「5G 音声アプリ」部門でも 5G グローバル・ウィナーとして単独受賞しし、前年に続く受賞となりました。

本アワードでは、国土面積の広い市場と比較的小規模な市場では 5G ネットワークの構築・運用に伴う課題が異なることを踏まえ、国土面積 20 万平方キロメートルを基準に 2 つの市場区分を設けています。各部門で最高評価を獲得したオペレーターを「グローバル・ウィナー（世界最優秀）」、それに次ぐ優れた評価を得たオペレーターを「グローバル・リーダー（世界リーダー）」として表彰しています。また、前年からの改善幅が特に大きかった上位 5 オペレーターを、各部門の「ライジング・スター（躍進）」として選出しています。

Opensignal のネットワーク・エクスペリエンス担当プレジデントであるショーン・ハイデル（Shawn Heidel）は、次のように述べています。
「消費者が実際に体感する通信品質は、Opensignal のあらゆる活動の中心にあります。5G が私たちの生活においてますます重要な役割を担う中、優れた 5G ネットワークに求められる水準も高まり続けています。世界をリードするオペレーターの真価は、こうした期待にどれだけ応えられるかによって決まります。今年の 5G グロブリン・アワードの受賞オペレーターは、その新たな基準を示しています」

主な分析結果

- 日本の au とソフトバンクが「5G 信頼性」で世界トップ： 国土面積の広い市場において両社が共同で最高評価を獲得。au は「5G 音声アプリ」でも前年に続き世界トップに選出されました。
- 「5G ダウンロード・スピード」ではブラジルと韓国のオペレーターが首位： 国土面積の広い市場ではブラジルの Vivo が前年に続き世界トップを維持。国土面積の小さい市場では韓国の SK Telecom が 495.1Mbps を記録し、KT を上回って首位を獲得しました。

- 「5G カバレッジ」では米国とシンガポールが高評価： 米国の T-Mobile とシンガポールの Singtel が、それぞれの市場区分で前年に続き世界トップに選出されました。
- 新設の「5G 利用率」では T-Mobile と StarHub が首位： 2026 年に新設された同部門では、国土面積の広い市場で米国の T-Mobile、小さい市場でシンガポールの StarHub が世界トップとなりました。
- 「5G ビデオ」では欧州のオペレーターが存在感： 国土面積の小さい市場ではオランダの Odido が単独首位を獲得。広い市場では北欧諸国とポーランドの計 12 のオペレーターが共同で世界トップに選出されました。
- 「5G ゲーム」ではドイツとスイスが首位： 国土面積の広い市場ではドイツの Telekom、小さい市場ではスイスの Swisscom が最高評価を獲得しました。
- 改善度を評価する「ライジング・スター（躍進）」ではペルーの Bitel が躍進：「5G ダウンロード・スピード」、「5G ビデオ」、「5G ゲーム」、「5G 音声アプリ」、「5G 信頼性」の 5 部門で選出され、全オペレーターの中で最多の受賞となりました。南アフリカの Vodacom とアルバニアの ONE も、それぞれ 3 部門で選出されました。
-

日本のオペレーターが 5G の「信頼性」と「音声アプリ」で世界最高評価を獲得

今回のアワードでは、日本の au とソフトバンクが「5G 信頼性」部門で共同世界トップとなり、日本の 5G ネットワークが実際のユーザー・エクスペリエンスにおいて高い評価を得ていることが明らかになりました。

また、au は「5G 音声アプリ」部門でも前年に続き世界トップを獲得しました。同部門は、5G ネットワーク上で音声コミュニケーション・アプリを利用する際のユーザー・エクスペリエンスを評価するものです。

これらの結果は、通信速度だけでなく、接続の信頼性や日常的なアプリケーションの利用体感が、5G ネットワークの品質を評価する上で重要な指標となっていることを示しています。

参考資料

5G Global Mobile Network Experience Awards 2026

Opensignal について

Opensignal は、消費者のネットワーク体感と意思決定に関する独立した知見を提供するグローバル・プロバイダーです。オペレーターは、Opensignal が提供するモバイルおよびブロードバンド・ネットワークに関する弊社独自のインサイトを活用することで、エグゼクティブ・レベルのスコアカードや公的検証から、特定レベルのエンジニアリング分析や消費者の意思決定に至るまで、利益の改善や、業界に勝ち残るためのソリューションを得ることができます。弊社の分析方法は独自のもので、高い透明性を担保し、すべてのオペレーターがネットワーク接続を継続的に改善できるよう支援します。弊社は米国、カナダ、英国に本社を擁し、南米とアジアに営業拠点を展開しています。

本件に関する問い合わせ先
Opensignal 広報担当
Adriane Blum

VP, Global Marketing and Communications at Opensignal
press@opensignal.com

Opensingal 広報代理
担当：清水
opensignal@jspin.co.jp